

# U.S. Indicators

発表日: 2023年12月12日(火)

## 米国 秩序だった景気減速(11月ISM非製造業指数)

～新規受注、活動指数が比較的高い水準を維持し、需要の緩やかな鈍化を示唆～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:050-5474-7493)

23年11月のISM非製造業景気指数(総合、季節調整値)は、52.7(前月51.8)と前月比0.9%ポイント上昇し、市場予想の52.3(筆者予想52.7)を上回った。また、拡大した業種数は、全18業種中15種(10月12業種)と増加し、多くの業種が拡大した。ただし、非製造業景気指数の11月の上昇は、21年11月(67.6)をピークとした低下トレンドのなかでのスピード調整的な上昇であり、米国景気の秩序だった減速を示している。また、回答者のコメントは、企業や業界によってまちまちだったが、引き続きインフレ、金利、地政学的な出来事に対する懸念を示した。

内訳では、新規受注が前月比変わらずとなった一方、活動指数、雇用、入荷遅延が上昇した。新規受注が比較的高い水準を保ち需要の堅調持続を示すなか、活動指数も事業活動の堅調さを映じて比較的高い水準を維持した。新規受注、活動指数の二つの重要項目が高い水準を維持しており、米非製造業部門が当面安定した拡大を続けることを示している。雇用は、小幅上昇したものの、拡大縮小の分岐点である50付近にとどまっており、雇用の緩やかな拡大を示している。ただし、企業からは「人員の補充が難しい」、「労働市場は依然非常に競争が激しい」と指摘されるなど、労働需要が依然強いことが示唆されている。入荷遅延は、景気減速、サプライチェーン問題の改善によって、拡大縮小の分岐点である50を下回っていたが、足元で50程度まで上昇し、納入スピードが再び鈍化していることが示された。

11月に拡大した業種数は、18業種中15業種と10月の12業種から増加し、多くの業種が拡大した。拡大した業種は、強い順に農林水産業、医療・社会支援、不動産・賃貸・リース業、芸術・娯楽・レクリエーション、運輸・倉庫、小売業、公益、宿泊・飲食サービス、その他サービス、企業向けサービス、金融・保険、公的部門、建設業、卸売業、教育サービス(下線は拡大・縮小が2カ月上続いたことを示す)。一方、縮小した業種は、情報産業、鉱業、専門・科学・技術サービスの3種(10月5業種)にとどまった。

非製造業総合指数の構成項目では、新規受注が55.5(前月55.5、前月比0.0%ポイント)と変わらずとなった一方、活動指数が55.1(前月54.1、前月比+1.0%ポイント)、雇用が50.7(前月50.2、前月比+0.5%ポイント)、入荷遅延が49.6(前月47.5、前月比+2.1%ポイント)と上昇した。総合指数への寄与度では、入荷遅延が前月比+0.53%ポイント、活動指数が前月比+0.25%ポイント、雇用が前月比+0.13%ポイントの押し上げ寄与となった。なお、新規受注は前月比0.00%ポイント。

サブ項目では、新規輸出受注が53.6(前月48.8、前月比+4.8%ポイント)と上昇し、サービス輸出の増加を示した。一方、輸入は53.7(前月60.0、前月比▲6.3%ポイント)と低下し、サービス輸入の拡大ペース鈍化を示した。

インフレ環境では、仕入価格指数が58.3(前月58.6)と小幅低下にとどまり、インフレ圧力が依然



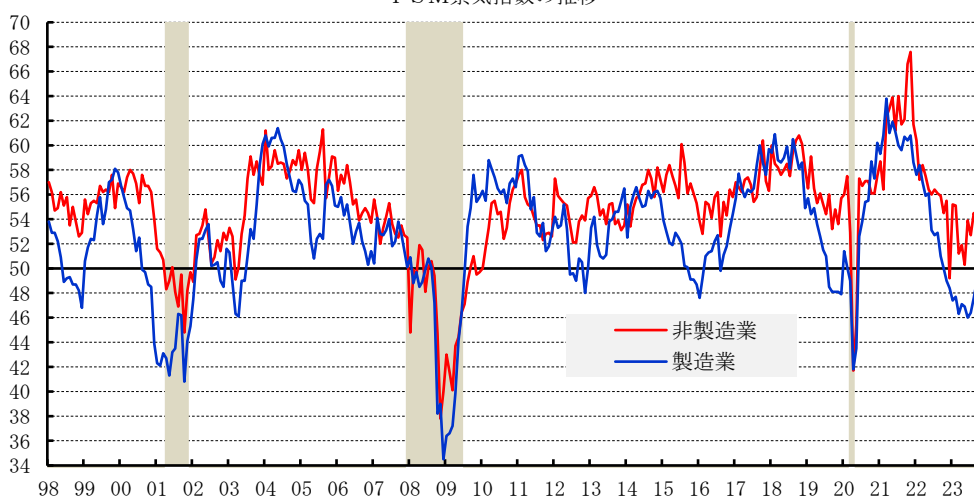
強いことを示した。労働コスト等の継続的な上昇のほか、電気部品等の上昇によって押し上げられ、価格指数が高止まりした。また、供給不足の分野として、変圧器、労働、電気部品が挙げられた。

米国経済全体の景気動向を示す「ISM総合景気指数（非製造業景気指数と製造業景気指数の合成）」は、11月に52.1（10月51.3）と上昇し、景気拡大ペースの加速を示した。しかし、四半期での推移をみると、10-12月期（10、11月平均）に製造業が46.7（7-9月期47.7）と4-6月期の水準に低下したほか、非製造業が52.3（7-9月期53.6）と4-6月期の52.0程度に低下した。この結果、ISM総合景気指数は、51.7（7-9月期53.0）と4-6月期の51.5程度に低下しており、10-12月期の米国需要が前期比で緩やかに減速していることを示している。

### ISM非製造業景気指数

	総合指数	活動指数	新規受注	雇用	入荷遅延	受注残高	仕入価格	新規輸出受注	在庫変動
22/11	55.5	61.6	55.8	50.6	53.8	51.8	70.1	38.4	47.9
22/12	49.2	53.5	45.2	49.4	48.5	51.5	68.1	47.7	45.1
23/01	55.2	60.4	60.4	50.0	50.0	52.9	67.8	59.0	49.2
23/02	55.1	56.3	62.6	54.0	47.6	52.8	65.6	61.7	50.6
23/03	51.2	55.4	52.2	51.3	45.8	48.5	59.5	43.7	52.8
23/04	51.9	52.0	56.1	50.8	48.6	49.7	59.6	60.9	47.2
23/05	50.3	51.5	52.9	49.2	47.7	40.9	56.2	59.0	58.3
23/06	53.9	59.2	55.5	53.1	47.6	43.9	54.1	61.5	55.9
23/07	52.7	57.1	55.0	50.7	48.1	52.1	56.8	61.1	50.4
23/08	54.5	57.3	57.5	54.7	48.5	41.8	58.9	62.1	57.7
23/09	53.6	58.8	51.8	53.4	50.4	48.6	58.9	63.7	54.2
23/10	51.8	54.1	55.5	50.2	47.5	50.9	58.6	48.8	49.5
23/11	52.7	55.1	55.5	50.7	49.6	49.1	58.3	53.6	55.4

ISM景気指数の推移



(出所) ISM (注) シャド一部は景気後退期

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。